

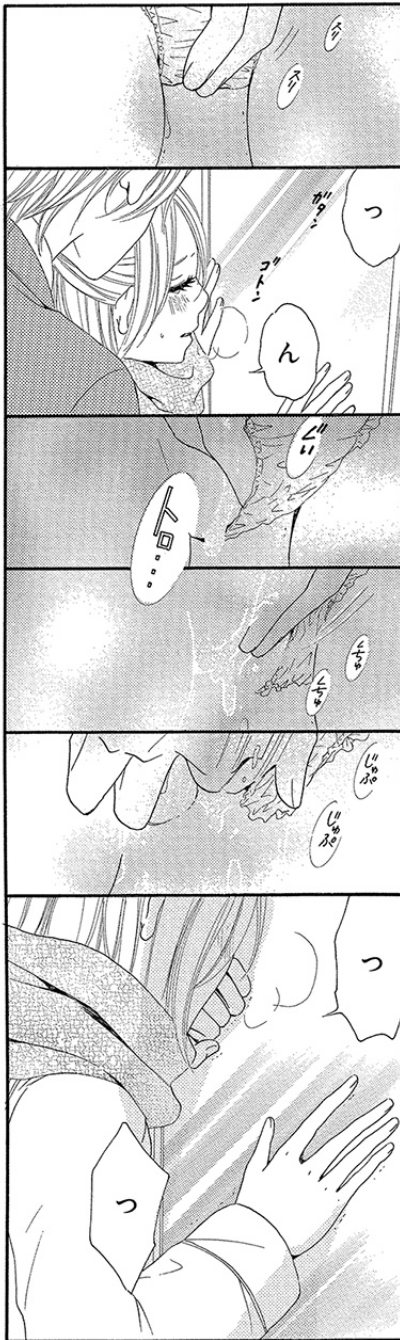
ぬ  
電でん車しゃ内ない  
濡ぬれたり  
挿いれたり

MIMOMO MOCHIZUKI

望月蜜桃











気分わる  
……



あ……

グッ  
グッ

彼との出会は  
半月前——



目に目に  
エスカレーター  
していつてる

ん

……っ



大丈夫？

あれ……  
私……



……え？

カリ  
タン

ゴ  
ン

わっ

すみません  
私っ

あっ急に動か  
ないほうが…



ほらやつぱ  
貧血じゃん

ロ  
ロ

おさまるまで  
よっかかってなよ

す…  
すみません

いーえ

ああ…はずかしい…  
未成年のお世話に  
なるなんて…

けど体温  
気持いい…

やほおしい  
飲みばホッ  
はあ…

……  
というか

この子…  
朝いつもいつしよに  
なる子だ！

キヤあ

ザザッ

わっ

信号停車です  
しばらくお待ち  
ください

りーな、  
ザザ

おんまへまへ  
おんまへまへ

大丈夫…

!?

うそ!?  
カバンが!!

ごめんっ

グイッ

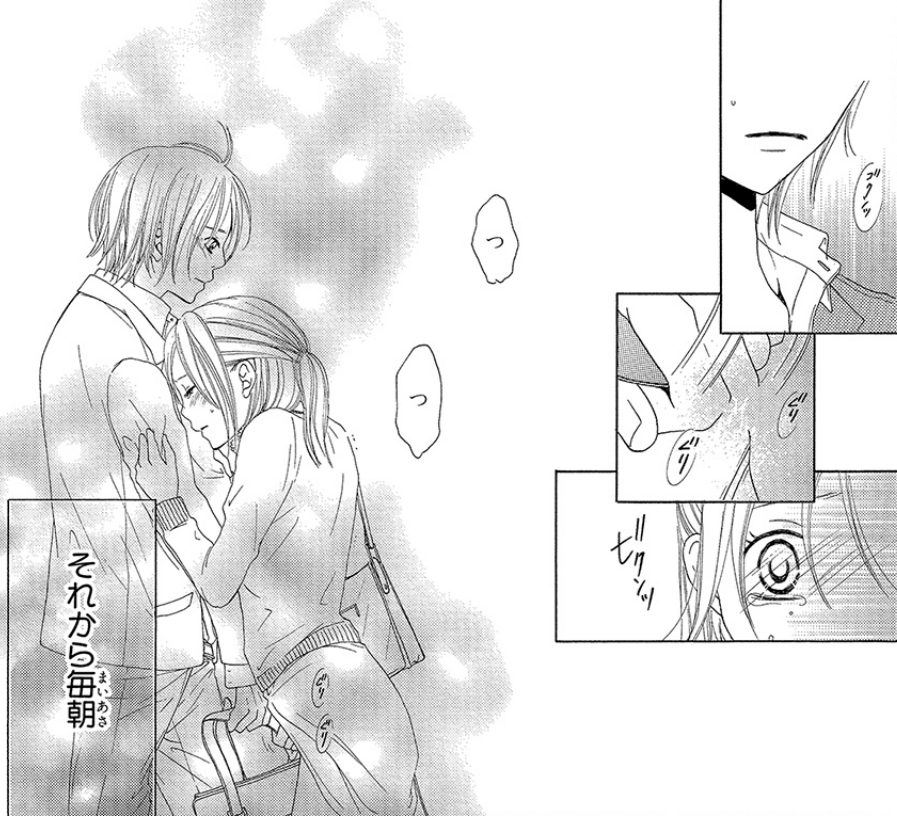
あっ

カツコイ子  
がいるな  
って思っ  
てたんだ  
よね

うき  
うき

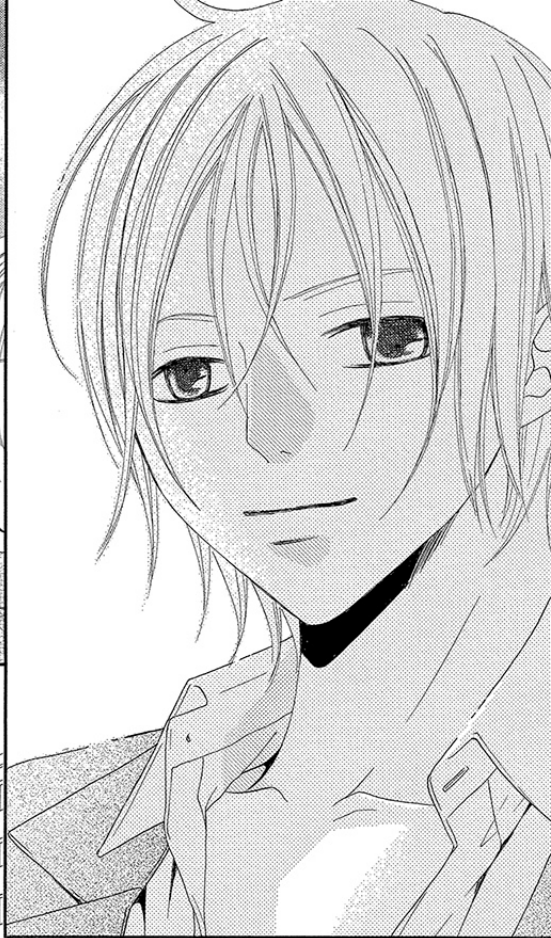






わたしたちのひみつの時間が始まった





ドゥン...

なんでそんな顔  
するの——...？



ああ…  
なんかやだ…

あの笑顔が  
頭からはなれない…

だって  
まるで——

“好きな子を  
イかせられて嬉しい”  
みたいな——…



好きな子？

ないないないっ  
そんなわけないっ

だいたい私だつて  
気持ちいいから  
つけてるだけで

相手は学生だよー  
年がちがいまするし  
名まえもしらないもんっ

あの子だつて

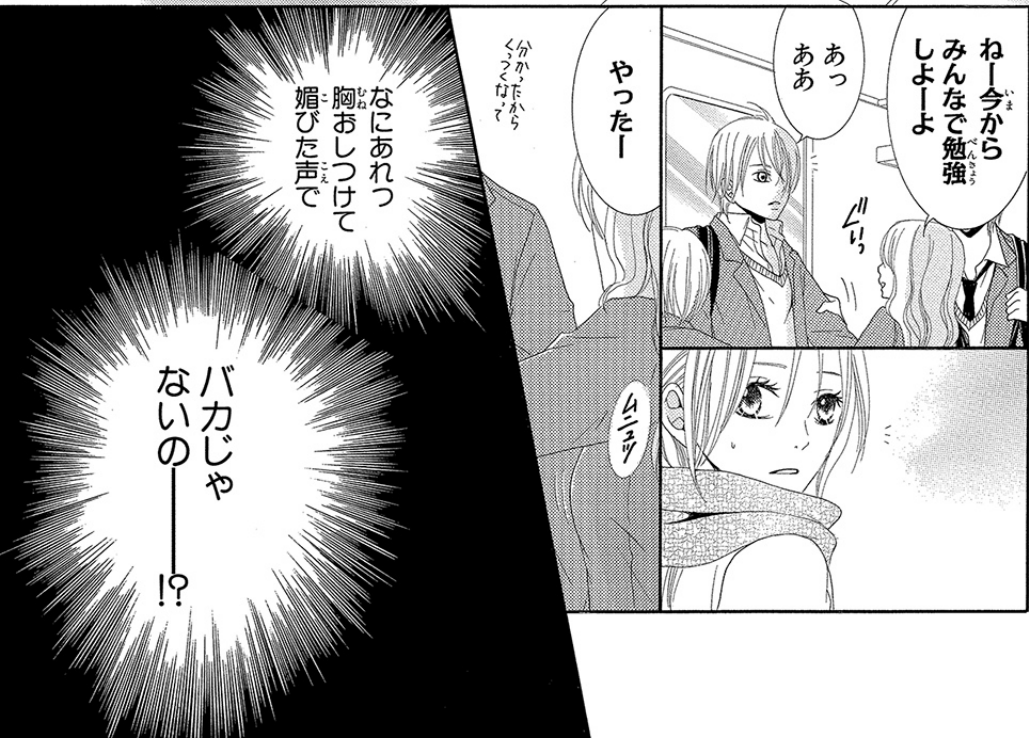
ただ  
楽しんでるだけに  
決まってるー

ちん

この書類









私……今  
なに考えた……？

彼女でもないのに

ト  
ロ  
ロ  
ロ  
ロ



ドアが  
閉まります  
ご注意ください

えっ

今  
わ  
か  
つ  
た  
じ  
ゃ  
ん

ト  
ロ  
ロ  
ロ  
ロ





彼は学生で  
私は社会人……

朝の時間を  
共有しても

同じ世界に  
いないって

ダメ

ダメ

これ以上  
つづけたら

本気になってしまう……

もう

やめなくちゃ

カ  
タ  
ン  
ゴ  
ッ  
ッ

